



一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム
活動報告2023

会員各位

2023年12月31日
一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム 事務局

PEAD2023活動報告

日頃、一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム(以下、PEAD)の活動に多大なるご支援をいただき、誠に有難う御座います。皆様のご支援をいただいて、おかげさまで、2020年5月14日に設立しましたPEADの活動期間も3年7ヶ月を迎えました。日頃のご支援誠に有難うございます！



<2023年7月、秋田県五城目町視察>

●活動報告 目次

1. 代表理事挨拶
2. “水”問題解決「可搬式浄水器」プロジェクト
3. 台風15号 秋田県 水害被害支援
→秋田県の「五城目豪雨災害・子ども支援プロジェクト」
4. 台風13号 福島県いわき市 被災地支援
→白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、
一般社団法人Tecoへの支援
5. PEADボランティアプロジェクト
(1)ボランティア顔合わせ会
(2)ボランティアミーティング2023
6. ピースウィンズ・ジャパンとの連携
(1)第4回PWJ多機関連携災害時医療救助訓練
7. 行政との連携
→千葉県との「被災者支援活動に関する協定」の締結についての締結
8. メディア・その他
9. 運営報告
10. お知らせ

● 2023年の御礼 代表理事 吉田浩一郎

2023年本年も1年通してPEADをご支援いただきまして誠に有難うございました。今年のトピックは以下のとおりです！大きな進捗がありました。

■ 1. キッチンカー「県を越境する派遣」千葉県にて法的な整理を行い実現！

2019年館山市支援以課題に3年がかりで解決の方向性が出ました！非常に感慨深いです。課題とは、「キッチンカーの営業許可は、県単位の保健所の許認可であるため、被災地支援としてキッチンカーを隣の県へ派遣したくても困難であることが多い」というものです。

有事の際に異なる県での営業許可の確認を取ることが難しく、**そのため自治体もキッチンカーの運営者も保守的に考えると派遣することを控えている事例**が各地で散見されました。実際に昨年の2022年静岡県清水市の被災後の長期断水においてもキッチンカーの希望はありましたが他県からの派遣は実現しませんでした。

それが千葉県熊谷知事と千葉県庁の防災担当の皆さまのお力により、以下のように法的な整理を行って頂きました。

災害時のキッチンカー事業者による炊き出しについて

<https://www.pref.chiba.lg.jp/bousaik/kitchencar-takidashi.html>

この千葉県による法的整理が全国へ広がる事により、今後は炊き出しの際に機動的に多様かつ温かい食事を被災者へ提供することが可能になります。またPEADは「一般社団法人フードトラック駆けつけ隊」と連携をしており、今後発災の際は、PEADからの資金提供でのキッチンカー派遣を予定しております。

■ 2. 理事（山野さん）による福島県いわき市における災害支援

PEADは「**会員の関与する地域で被災地があった際に気軽に活用できるインフラ**」を目指しています。

そういった意味では、**今回理事である山野さんのつながりで福島県いわき市への被災地支援の可能性が生まれ、現地へPEADが支援しながら山野さんといわき市長、議員、支援団体と連携したことにより国宝・文化財支援、被災者支援**ができたことは2024年以降に繋がる大きな事例となったと考えています。

今後、ぜひ支援いただいている会員や登録ボランティアの関与する場所での被災があった際にはPEADをご活用いただきたいと考えております。

■ 3. ピースウィンズ・ジャパンとの多機関連携災害時医療救助訓練に、会員とボランティアの方々が参加！

毎年行っている「多機関連携災害時医療救助訓練」ですが、これまでは理事や事務局メンバー中心に参加しておりましたが、今回は資金支援いただいている会員とご家族が訓練参加を希望され、実際に参加いただきました！

また、PEADが構想した「企業内ボランティア制度」からのボランティアとしてアイスタイル社、リブセンス社、SAKURAG社などからのボランティアが今回の訓練に参加いただきました。

いずれもコロナ禍では実現していなかった「平時から災害支援訓練を行うこと」が進捗しており、非常に嬉しい話だと考えております。

有事になってから個人単位で動いてもできることに限りはありますので、**今後は、**

1. 平時から行政と連携し
2. 平時から認定ボランティアを育成し、
3. 有事の際に機動的にヒト・モノ・カネを被災地へ支援するという仕組みを積み重ねていけると考えております。

以上がPEADとしての今年のトピックになりますが、トピックとして触れていない秋田県の支援やこれまでの支援から被災地に共通する課題が多数発見されております。いくつか例を挙げますと、

1. 浚渫（川の水底の土砂）の課題：長年の土砂や、被災による土砂が除去できない場合に悪循環に陥り、翌年や複数年に渡って連続的に水害が発生する。翌年の台風までに1年単位での浚渫に対して予算化、事業者の高齢化、作業の優先順位など複数の問題が絡み、毎年の水害が定常化してしまう地域がある。

2. 行政による支援物資配布の課題：以前からお伝えしているとおり、行政においては支援物資は平等に配布することが前提となるため、目の前で困っている方がいたとしても配布が難しい状況があることがわかっています。一方で海外では条例で時限的に「不平等で良いので目の前の人から即時物資を配布する」という事例があると聞いていますので事例の調査を行っております。

などなど、PEADとして日本の災害支援の在り方を改善できる余地が多数眠っておりますので、2023年の皆さまの支援に御礼をお伝えするとともに、**2024年も現場主義で現地での課題を一つ一つ観察して改善して参りたいと思います**ので、引き続き今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

2023年活動報告

株式会社キッツ 災害時緊急支援協定を締結

協定締結日：2023年6月28日

株式会社キッツ（本社：千葉県千葉市美浜区、代表取締役社長：河野 誠）と、一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム（代表理事：吉田 浩一郎株式会社クラウドワークス代表取締役社長 CEO）は、災害発生時の緊急支援協定を締結しました。

災害発生時および避難生活において、ライフラインの断絶により一番困るのが生活用水の確保（第一に飲料水やトイレ、洗濯・風呂等も制限される）とされています。

これらの問題を解決するため、キッツが展開するグループ各社の水関連技術や製品・サービスを総合的に活用しソリューションを提案する活動「KITZ Water Solutions（キッツ ウォーター ソリューションズ）」の一環として、グループ会社の製品である可搬式膜ろ過浄水装置「アクアレスキュー」と、手軽に持ち運びできる携帯用浄水器「Delios& Water Pack」を、有事の際に提供いただくことで合意しました。

<提供製品>

アクアレスキュー



株式会社清水合金製作所の膜ろ過浄水装置。沢の水から河川水、井戸水に至るあらゆる原水に対応し、災害時に最大1600人超への給水が可能（災害時必要水量約30L/1日として計算）。サイズがコンパクトなため、一般的な建物に搬入しやすいほか、自動運転システムにより維持管理も容易に行える。

Delios& Water Pack



中空糸膜と各種成形技術をベースにした流体分離製品の株式会社キッツマイクロフィルター製携帯用浄水器。0.1μmの中空糸膜フィルターが有害な細菌類、雑菌、カビ、濁りなどを除去。また繊維状活性炭が塩素や泥などの匂いを除去します。細菌除去率99.9999%を実現。

3. 台風15号 秋田県 水害被害支援



台風15号被災地視察：秋田県

【視察概要】

視察日：2023年7月22日

視察地：秋田市および南秋田郡五城目町

【視察者】

吉田代表理事、遠藤メンバー、岡田事務局長、眞貴田

日本各地を襲った7月の大雨の影響で床上浸水の被害が大きかった秋田県秋田市と南秋田郡五城目町（ごじょうめまち）へ視察を行いました。

過去に視察した被災地に比べて、泥も早急に除かれており、給水も町が柔軟に対応され、以前視察した静岡県清水市より色々な対応が早い印象でしたが、ゴミ捨て場の問題や、高齢者が50%以上を占める五城目町では飲料水などの備蓄品を取りに行けないという課題が見えました。

断水エリア外のBABAME BASEにて食事をいただき、トマトのヘタ取りをお手伝いしました。



<被害の様子>



<氾濫した川を視察する様子>



<トマトのヘタ取りを手伝う
吉田代表理事と遠藤メンバー>

任意団体五城目コモンズ、認定特定非営利活動法人カタリバを通じた活動支援

【概要】

支援日：2023年8月
 支援先：五城目コモンズ「まちの運び屋」他
 支援金額：100万円（振込先：カタリバ寄付口座）
 支援内容：支援物資として届いた食料を調理し、被災した買い物難民の方々へ戸別訪問して地域の仲間が届ける活動。
 毎日昼食と夕食、約60～80食を車2～3台で、それぞれ2人組で配達する。

7月の大雨で被災した秋田県の視察後、秋田県南秋田郡五城目町（ごじょうめまち）での被災者支援のため、任意団体五城目コモンズ（以下五城目コモンズ）、認定特定非営利活動法人カタリバ（本部：東京都杉並区、代表理事今村久美、以下カタリバ）を通じ、地域の方々と連携し、戸別訪問で食事を届ける活動を支援しました。

カタリバが遂行する「五城目豪雨災害・子ども支援プロジェクト」への寄付を通じて、地域の方々と連携し軽トラックを借り上げ、8月初旬に現地にて買い物などの移動手段を失った被災者の方々に、毎日お昼ごはんと夕ごはんを届ける活動への支援を行いました。支援は必要なものの被災した現状を域外の人にあまり見られたくない…、知らない人からの食べ物を受け取りにくい…という特に高齢の被災者の方々に配慮し、配達は地元の方に行っていました。



<支援物資を配達する様子>



<認定特定非営利活動法人カタリバより、支援に対しての感謝状を頂きました。>

台風13号被災地視察：福島県いわき市

【視察概要】

視察日：2023年9月30日

視察地：福島県いわき市

【視察者】

吉田代表理事

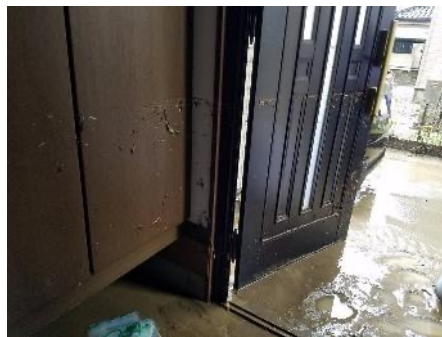
福島県の参議院議員の森まさこ先生からPEAD理事の山野氏へ依頼があり、9/8の台風13号により床上浸水1600棟になっている被害が全く知られていないとのことで、9月30日にいわき市前田地区を吉田代表理事が視察を行い、現地の方々とPEADとして協力できる支援について話し合いの場を持ちました。

また、訪問したお宅は3.11で両親と祖父を亡くし震災孤児となったAさんのお宅で、被災翌月に臨月を迎える状況で床上浸水し、家具家電、水回り（キッチン、トイレ）が使用不能となってしまったことをお伺いしました。



<前田地区の状況、被災から20日経過してもこの状況で当時の惨状が想像される>

<氾濫した新川の様子、2019年の氾濫以降に浚渫（しゅんせつ=川の底の汚泥を取る作業）がされておらず、今回の床上浸水に繋がった>



<被害にあったAさんのお宅
吉田代表の手の高さまで水が上がったことが分かる。>

白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、一般社団法人Tecoへの支援

【支援概要】

支援日：2023年11月

支援先：白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、一般社団法人Teco

支援金額：250万円

支援内容：

①白水阿弥陀堂：国宝・文化財修繕の自費負担分として

②NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会：遺児孤児の生活必需品購入支援として

③一般社団法人Teco：被災地域の炊き出しを通じた孤独防止、コミュニティ構築の支援として

・炊き出し- 本年12月より来年3月をめどに週1回100食、計15回の炊き出し- 直接受け取り70食、個別配布30食

・個別訪問+配食- 民生委員と連携をはかりながら1回30軒程度を想定

・サロン活動- 週1回、計15回、1回あたり30名程度の利用を想定

・アンケート- 復興の現状や生活の中での困りごとを記載いただくアンケート調査

9月の台風13号で被災した福島県の視察後、11月3日に山野理事と岡田事務局長が森まさこ参議院議員のアテンドの元、改めて現地を視察し、復興を支える3つの団体に対して計250万円の寄付を行いました。



<白水阿弥陀堂の視察の様子>

左) 国宝の直下まで浸水。法物は全て浸水。仏像だけがギリギリで浸水を逃れた。
右) 右からいわき市長内田 広之氏、森まさこ参議院議員、山野理事>



<一般社団法人Tecoの視察の様子>

5. PEADボランティアプロジェクト



(1) ボランティア顔合わせ会

【開催概要】

開催日：2023年3月7日(火) 19時～

会場：住友不動産御成門タワー（PEADメンバーオフィス）

【内容】

吉田代表挨拶 / PEAD活動報告 / PEADの支援先からの復興報告
(大和一酒蔵) / 災害カレンダー報告 / 各自自己紹介 / 懇親

【参加者】

PEADメンバー、登録ボランティア、メンバー企業所属のボランティアにご興味のある方、PEAD吉田代表理事、事務局メンバー

3月7日、企業内ボランティアを中心に、元消防士、元自衛官、看護師、弁護士、広報など専門家も集まり、登録頂いたボランティア皆様の顔合わせを行いました。

2020年に支援した熊本県人吉市の大和一酒蔵オーナーに当時の話と我々への感謝をzoomで語って頂いたほか、一人一人の被災経験や、災害支援経験をシェアし、未経験者でも思いを語り合っ素晴らしい会となりました。

なかなか顔を合わせる機会の少ないボランティアですが、有事に現場が一致団結できるイメージが湧きました。



＜大和一酒蔵オーナーのご報告を聞く様子＞



＜ボランティア顔合わせ会の様子＞



＜試食した災害保存食＞

5. PEADボランティアプロジェクト



(2) ボランティアミーティングアップ2023

【開催概要】

開催日：2023年5月30日(火) 19時～21時

会場：NOS Bar&Dining 恵比寿

【内容】

代表あいさつ / 発起人挨拶 / PEAD活動報告 / 支援先からの復興報告 / 連携機関PWJ / 災害カレンダー報告 / 懇親

【参加者】

発起人理事のメンバー、PEADメンバー、登録ボランティア、これまでに災害支援をおこなった各市町村関係者の皆さま（一部オンラインでの参加）、連携機関の皆さま、協力法人会員等の皆さま、事務局合わせて50名

コロナも第5類となり、今後他府県からのボランティア稼働が許容されるであろう2023年の雨シーズンを前に、いざという時にスムーズに活動できるよう、今回はボランティアだけでなく、創業理事やメンバーも参加した初めてのボランティアミーティングアップを開催しました。PEAD設立の思いを理事から直接聞く貴重な機会となり、IT業界の繋がりを強化する新しい交流もありました。



<吉田代表挨拶>



<発起人小林史明氏挨拶>



<懇親の様子>

(1) 第4回PWJ多機関連携災害時医療救助訓練

昨年に引き続き、総勢189名・51団体が集まり、過去最大の規模で開催された、特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン (PWJ)と空飛ぶ捜索医療団ARROWS主催の「多機関連携災害時医療救助訓練」に参加しました。

【活動概要】

- 活動期間：2023年12月16日～17日
- 実施場所：帝釈峡スコラ高原 グラウンド
(広島県神石郡神石高原町相渡216)
- 参加団体：PWJ/空飛ぶ捜索医療ARROWS/HuMA(災害人道医療支援会)/日本災害医療薬剤師学会/台湾鉄漢隊/PEAD/(株)キッツ/(株)エアストレッチャー/IKOF(消防有志団体)/特定非営利活動法人 日本サーチドッグアソシエーション (NSA)
- 参加者：登録ボランティア2名、事務局4名、オブザーバー2名

想定：令和5年12月12日9時。中国地方山間部の戸或町(仮想)で断層型地震が発生。マグニチュード7.8、震源の深さ10Km、予想震度7。
PEADの役割：他団体との連携サポート(フィールドホスピタル受付サポート(ゲート)、ロジスティクス(食堂、衛生)サポート)。自団体テント設営、自営。テントサウナ運営。

当日は氷点下の雪の中の活動で、サウナテントが高評価をいただき、心身共に疲弊しやすい災害時での必要性を実感しました。
また、「企業内ボランティア制度」で参加した訓練経験のないボランティアでも、積極的にPWJとの連携し自発的に活動することができました。
今後は、災害支援現場のスタッフ間での情報共有ツールないしデジタル環境の提供など新たな課題を検討し、防災に関する有益な情報を拡散するイベントの開催を視野に入れ、より多くの人に情報拡散してオブザーバーやボランティアの参加を促していきます。



<全体集合写真>



<サウナテント設営の様子>

行政連携

7. 行政連携



千葉県との「被災者支援活動に関する協定」の締結についての締結

千葉県（熊谷俊人市長）とPEADは、2023年12月22日に「被災者支援活動に関する協定」を締結しました。

主な内容としては、

- ・PEADの支援プラットフォーム機能を生かした被災者支援活動の実施

- ・被災者支援活動の内容拡大に向けた継続的な協議

※現在想定する活動は、避難所等でのキッチンカー事業者による炊き出しボランティアの派遣調整

の2点で、これにより、千葉県においては有事の際にキッチンカーのマッチングと提供を地域に関係なく行えるようになります。

キッチンカーを活用した炊き出しボランティア活動が可能になると、被災地にておにぎりやパンやカップラーメンではなく、様々な温かい食事を提供できるようになります。

（従来は食品営業許可の場合は保健所の管轄となることもあり、災害支援時にキッチンカーが県をまたぐことにおいてはかなり高いハードルがありました。）

この法的な整理が全国に広がれば災害支援の食事のあり方が大きく前進することになるため、今後の広がり期待します。



<締結の様子>

8. メディア・その他

●他社/自治体プレスリリース

●【千葉県】

2023/12/22 一般社団法人災害時緊急支援プラットフォームとの「被災者支援活動に関する協定」の締結について

<https://www.pref.chiba.lg.jp/bousaik/saigaitaisaku/kyoutei/kyoutei-pead.html>

●その他

●【株式会社キッツ】

2023/6/28 災害時の緊急支援協定について

<https://www.kitz.co.jp/news/%E7%81%BD%E5%AE%B3%E6%99%82%E3%81%AE%E7%B7%8A%E6%80%A5%E6%94%AF%E6%8F%B4%E5%8D%94%E5%AE%9A%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6/>

●【空飛ぶ捜索医療団(災害緊急支援プロジェクトARROWS)】

2023/12/22 空飛ぶ捜索医療団(災害緊急支援プロジェクトARROWS HP

【第4回多機関連携災害時医療救助訓練を開催しました】

<https://arrows.red/news/activities/n20231222/?fbclid=IwAR2BqEO7zfb52XepzBcqP7paWlXn7uOYBmkDTwgQFTlHy5S29VrIePp0FE0>

●SNS

●【空飛ぶ捜索医療団(災害緊急支援プロジェクトARROWS)】

2022/12/15 X

【多機関連携災害時医療訓練】

<https://x.com/ARROWS36899898/status/1736718165256855974?s=20>

●【熊谷俊人 千葉県知事】 2023/12/22 X

https://x.com/kumagai_chiba/status/1738059221667828087?s=20

●PEAD公式HP 掲載

- 2023/12/22 [千葉県との「被災者支援活動に関する協定」の締結について](#)
- 2023/11/30 [本年9月と11月の大雨により被害のあった福島県にて、白水阿弥陀堂、NPO法人ふくしま震災遺児・孤児を見守る会、一般社団法人Tecoへの支援を行ないました](#)
- 2023/8/31 [7月の全国における記録的大雨を受けて、8月秋田県にて「五城目豪雨災害・子ども支援プロジェクト」への支援を行ないました](#)
- 2023/7/10 [PEADボランティアミーティング2023](#)
- 2023/6/28 [『株式会社キッツ』災害発生時の“水”の問題を解決するため、PEADと連携して「可搬式浄水器」を被災地へ提供開始](#)

●PR 掲載

- 2023/7/25 [秋田支援にIT企業社長60人がスクラム、「ITの力で後押しを」](#)

9. 運營報告

社員総会

- 実施日：2023年7月21日
- 実施形態：オンライン
- 議案内容：2022年度活動報告、団体運営報告、決議(計算書類承認)
- 参加者：16名(降順)
遠藤 洋之、蔵元 二郎、小林 賢治、小林 史明、辻 庸介、富永 歩、野内 敦、藤沢 烈、本間 真彦、松本 恭攝、渡辺 英治、吉田 浩一郎
+事務局メンバー



※決議内容に関しては別途総会議事録に掲載

● 2023年12月25日現在の会員状況 会員数：66名

● 2023年 新規会員3名（降順）

お名前	所属先	ご役職
篠塚 孝哉	株式会社令和トラベル	代表取締役社長
池田 康太郎	新日本パートナーズ法律事務所	
西藤 健太郎	株式会社ジャストタイム二十四	代表取締役

● 既存会員63名（降順）

青柳 直樹	株式会社メルペイ	代表取締役CEO
赤浦 徹	インキュベイトファンド	代表パートナー
安部 敏樹	一般社団法人リディラバ 株式会社Ridilover	※有識者会員
有安 伸宏	起業家・エンジェル投資家	
安藤 広大	株式会社識学	代表取締役社長
井上 高志	株式会社LIFULL	代表取締役社長
上田 祐司	株式会社ガイアックス	代表執行役社長
上野山 勝也	PKSHA Technology	CEO
上原 仁	株式会社マイネット	代表取締役社長
宇佐美 進典	株式会社CARTA HOLDINGS	代表取締役会長
漆原 茂	ウルシステムズ株式会社	代表取締役社長
遠藤 洋之	株式会社SAKURUG	代表取締役
小野澤 秀人	REGAIN GROUP株式会社	代表取締役CEO
草野 隆史	株式会社ブレインパッド	代表取締役社長
久住 拓寛	アルシオン・ファミリーオフィスサービス株式会社	
蔵元 二郎	株式会社BNGパートナーズ	代表取締役
小泉 文明	株式会社メルカリ 取締役会長、株式会社鹿島アトラーズ・I7・シー	代表取締役社長
小林 賢治	シニフィアン株式会社	共同代表
小林 史明	自由民主党 衆議院議員	※有識者会員
佐藤 光紀	株式会社プロテックホールディングス	代表取締役、グループ社長執行役員
佐藤 裕介	ヘイ株式会社	代表取締役社長
重松 大輔	株式会社スペースマーケット	代表取締役社長
柴田 啓	CEO, Venture Republic (LINE Travel jp/Trip101)	
須田 将啓	株式会社エニグモ	代表取締役 最高経営責任者
須田 仁之		
曾根原 稔人	ギークス株式会社	代表取締役社長
高野 秀敏	株式会社キープレーヤーズ	代表取締役
高村 彰典	株式会社サイバー・バズ	代表取締役社長

武田 純人
竹谷 祐哉 株式会社Gunosy 代表取締役
田中 弦 Fringe81株式会社 代表取締役CEO
辻 庸介 株式会社マネーフォワード 代表取締役CEO
鶴岡 裕太 BASE株式会社 代表取締役CEO
寺田 航平 寺田倉庫株式会社 代表取締役社長CEO
中川 綾太郎 株式会社newn 代表取締役社長
中嶋 淳 アーキタイプ株式会社 代表取締役CEO
永見 世央 ラクスル株式会社 取締役CFO
中出 一誠 株式会社Blanciel 代表取締役
中村 壮秀 アライドアーキテクト株式会社 代表取締役CEO
中村 慶郎 株式会社Orchestra Holdings 代表取締役社長
中山 亮太郎 株式会社マクアケ 代表取締役社長
成田 修造 株式会社クラウドワークス 取締役副社長
野内 敦 株式会社w°ホールディング 代表取締役社長 グループ CEO
端羽 英子 株式会社ビザスク
福武 英明 株式会社ベネッセホールディングス 取締役
藤沢 烈 一般社団法人RCF 代表理事 ※有識者会員
船橋 カ 文部科学省 官民協働留学創出プロジェクト トビタテ！留学JAPAN プロジェクトディレクター ※有識者会員
本田 謙 株式会社フリークアウト・ホールディングス 代表取締役社長 Global CEO
本間 真彦 インキュベイトファンド/代表パートナー
松本 真尚 WiL 共同創業者/ジェネラル・パートナー
松本 恭暁 ラクスル株式会社 代表取締役社長CEO
嶺井政人 グロース・キャピタル株式会社 代表取締役社長
宮田 昇始 株式会社SmarterHR 代表取締役
向畑 憲良 GMOメイクショップ株式会社 代表取締役社長
村上 太一 株式会社リブセンス 代表取締役社長
米良 はるか READYFOR株式会社 代表取締役CEO
森田 英克 KLab株式会社 代表取締役社長 CEO
山岸 広太郎 株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ
山田 進太郎 株式会社メルカリ 代表取締役CEO
山野 智久 アソビュー株式会社 代表取締役CEO
吉田 浩一郎 株式会社クラウドワークス 代表取締役社長CEO
吉松 徹郎 株式会社アイスタイル 代表取締役社長 兼 CEO
渡辺 洋行 B Dash Ventures株式会社 代表取締役社長

●協力法人会員：10社（降順）

●2023年 新規協力法人 2社

協力法人名

一般社団法人日本飲食団体連合会 シェフの派遣

株式会社キッツ 可搬式浄水器の有償提供

●既存協力法人 8社

協力法人名

Aldealize株式会社 防災備蓄の安価な提供、消防士としての経験、研修、防災知識等

株式会社ザイグー 広告、PR、クリエイティブ、イベント制作、映像制作

株式会社SUKURUG 社員のボランティア登録を促進

株式会社タイミー マatchingプラットフォーム「Timee」によるボランティア人材提供

株式会社良品計画 倉庫提供・ボランティア協力

ツクリンク株式会社 建設業界のネットワークや知見の提供

ハコベル株式会社 軽貨物車両、一般貨物車両の拠出

ラクスル株式会社 物流のMatchingシステム

10. お知らせ

●PEAD設立の背景

PEADは、有事の際に、民間の共助の力で災害に対して支援をすることができる体制を整えるべく設立しました。本団体は、個人による常設の支援プラットフォームを構築し、有事の際に、災害に対する支援を機動的に行うことを目的としています。

PEADの設立にあたっては、IT業界を中心とした経営者・投資家・有志の方々に賛同をいただき、皆様からの支援金をもとにした基金で運営しています。また、企業・団体からも協力をいただいております。協力法人会員として各社のサービス・ノウハウをPEADへ提供いただいております。

今後も私達は、緊急性が高い社会課題が発生した際に迅速に資金を調達し、ボランティアを現地へ派遣するなどの災害支援の仕組みを準備し、被災地の一刻も早い復興を実現するために、支援活動を行っていきます。

引き続き、会員(正会員／有識者会員)、協力法人会員の募集を行っております。会員の皆様の周りで、PEADの活動に興味をお持ちの方はいらっしゃいませんか。新たにご紹介いただける場合には、事務局までご連絡くださいませ。また、会員の皆様からも再度、本団体の活動をSNSなどでシェアしていただけますと幸いです。

【本件に関するお問い合わせ】

一般社団法人 災害時緊急支援プラットフォーム事務局

担当：岡田（隆）、木本、眞貴田、池上（降順）

MAIL：pr@pead.jp